

要旨まとめ:ロータリー財団(2024-25年度)

渡部 羊三(秋田東RC)

1. 寄付の全体像(2024-25年度)

ロータリー財団は、世界中の奉仕活動を支えるために多様な基金を運用しています。
2024-25年度の寄付総額は5億6,960万ドル。

■ 基金別の寄付額(2024-25年度)

基金	金額
年次基金	1億4,640万ドル
恒久基金	6,400万ドル
ポリオプラス基金	1億3,280万ドル
その他の基金	6,330万ドル
現金寄付合計	4億650万ドル
恒久基金への新規誓約	1億5,270万ドル

「現金寄付合計 4億650万ドル」「すべての合計 5億6,960万ドル」

2. 累計寄付額(歴史的累計)

ロータリー財団は長年にわたり世界の課題に取り組んできました。

- 年次基金累計:36億ドル
- 恒久基金累計:6億3,270万ドル
- ポリオプラス累計:25億ドル
- 現金寄付累計:72億ドル

3. 財団が支援する主要プログラム

第3分科会

すべての数字は2025年6月30日時点。

■ ① ポリオプラス

- 1988年以来、約30億人の子どもに予防接種
- ローターは28億ドル以上を投入
- 2024-25年度の補助金:1億5,100万ドル

「ポリオのない世界を実現するために…根絶活動を継続」

■ ② ローター平和センター

- 2002-03年度以来、1,800人以上の平和フェローを育成
- 2024-25年度:48カ国から101名が留学
- 授与額:520万ドル

■ ③ 地区補助金

- 小規模・短期プロジェクトを支援
- 2024-25年度:468件、2,780万ドル

■ ④ グローバル補助金

- 持続可能で測定可能な国際プロジェクト
- 2024-25年度:1,423件、8,100万ドル

■ ⑤ 災害救援補助金

- 自然災害への救援・復興支援
- 2024-25年度:74件、180万ドル

■ ⑥ 大規模プログラム補助金

第3分科会

- 3～5年規模の大型プロジェクト
- 2024-25年度:200万ドル
- コロンビアの平和構築プロジェクトに採択(パートナー団体から400万ドル上乘せ)

4. 財団の支出構造(2024-25年度)

総支出:3億7,930万ドル

■ 内訳(主なもの)

- **プログラム授与額(81%)**
 - ポリオプラス:1億5,100万ドル
 - グローバル補助金:8,100万ドル
 - 地区補助金:2,780万ドル
 - 災害救援補助金:180万ドル
 - 平和センター:520万ドル
 - 大規模プログラム:210万ドル
- **運営費(19%)**
 - プログラム運営費:2,550万ドル
 - 寄付推進費:2,770万ドル
 - 一般管理費:2,000万ドル

総合まとめ(最重要ポイント)

1. ロータリー財団は世界最大級の民間奉仕財団であり、2024-25年度だけで約5.7億ドルの寄付を受けた。
2. ポリオ根絶は最大の重点事業で、累計28億ドル以上を投入。
3. グローバル補助金・地区補助金・平和センターなど、世界中の持続可能なプロジェクトに資金を提供。
4. 寄付の81%が直接プログラムに使われるという高い効率性。
5. ロータリー財団は、平和・教育・医療・災害支援・経済発展など多方面で世界に貢献している。



要旨まとめ:国際奉仕委員会(ICC・平和センター)

阿部 大助(秋田中央 RC)

1. 国際共同委員会(ICC:InterCountry Committee)とは

■ 起源と規模

- 1950年、ドイツとフランスの戦後和解の象徴として誕生
- 現在、世界119か国に600以上のICCセクションが存在
- RI公認の活動だが、独立したボランタリー組織

「国家を超えた友情と協力の絆を深めること」が目的

2. ICCの目的

- 国家間の友情・協力を深め、平和と理解を促進すること

3. ICCの活動内容

● 草の根の国際交流

- 相互訪問、姉妹クラブ(ツインクラブ)締結
- 青少年交流、文化プログラム
- 医療支援、学生交換など

● 国際協働プロジェクト

- グローバル補助金を活用した国際プロジェクト
- ロータリアンが「平和の大使」として信頼関係を構築

4. ICC の役割と構成

- 複数地区による公式な2国間協力枠組み
- MOU(覚書)で結ばれ、平和・教育・人道支援を推進
- 各国にセクション(事務局)を設置し、年1回以上の会合
- ※ウクライナ(2232地区)との事務局は2520地区に設置

5. ICC のメリット

- グローバル補助金がスムーズに進む
 - すでに信頼関係・連絡体制が整っているため、申請・調整・実施が効率的
- 若い世代への継承
 - ローターアクト・インターアクトとの交流が活性化
- 国際理解の深化
 - 友情と信頼に基づくプロジェクトが実現しやすい

6. 2540地区の現状(2026-27年度)

- 2025年11月:2232地区(ウクライナ)とICC締結
- セクションは2520地区・多賀城1300衛星クラブに設置
- 2026年7月:2232地区からインターアクター2名が訪問予定

ローターリー平和センター(Peace Centers)

1. ローターリー平和センターとは

- 平和構築・紛争解決に貢献する人材を育成する教育機関

第3分科会

- 1999年に創設
- 115か国以上から1,500人以上の平和フェローが卒業
- 世界に7つの平和センターを設置

2. 日本の平和センター(ICU:国際基督教大学)

- 東京の国際基督教大学(ICU)に設置
- 2002年から毎年約10名のフェローを受け入れ
- 2540地区はフェロー候補者を推薦可能

● 2025-26年度の取り組み

- 地区大会に平和フェロー 金子由佳氏を派遣 テーマ:「ガザから考える世界平和」

総合まとめ(最重要ポイント)

1. ICCは国家間の友情と協力を深める国際奉仕の重要な枠組み
2. グローバル補助金の円滑な活用に大きく貢献
3. 2540地区はウクライナ2232地区と正式にICCを締結し、交流が進行中
4. ロータリー平和センターは世界の平和人材を育成する中核プログラム
5. 日本のICUはその重要拠点であり、地区としてフェロー推薦が可能